

MAUI 2012/09/24 (Mon)

MAUI 2012/09/24 (Mon)

Arch M1

bhangra

顔認識技術による繋がりの実現

- 顔情報により相手ユーザーを識別
- 相手ユーザーと通信手段やSNS等を通じて繋がる
- ユーザーは自身のネット上でのアイデンティティや自身への通信手段を自身の顔情報と紐付け

問題

顔情報は一人につき一意

プライバシーの観点から非常にセンシティブ

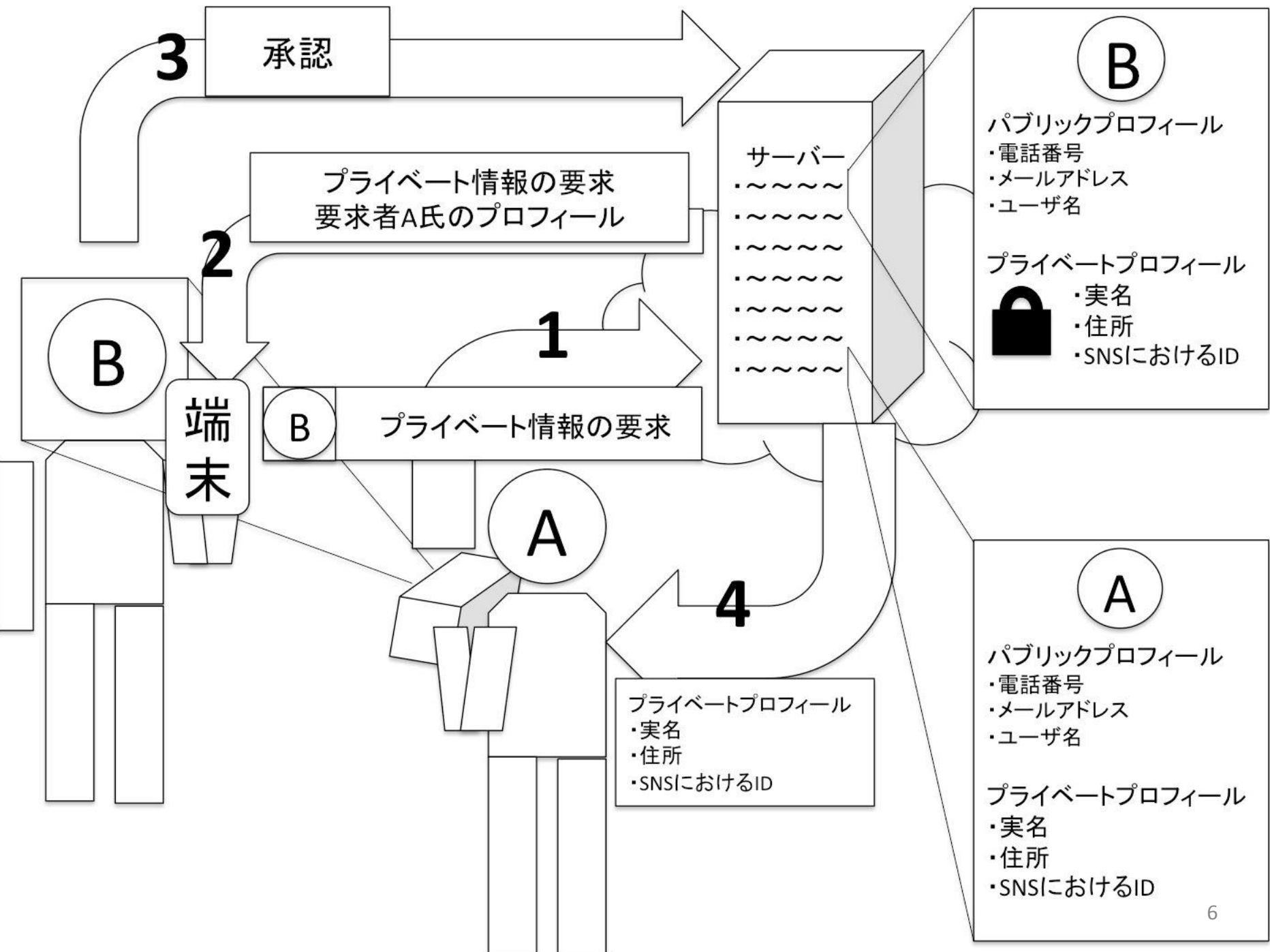
Facebookによるtag suggestions機能の導入に伴い、ドイツ、ノルウェー、アイルランド等の国々からユーザの同意をえずに不当に画像収集を行なっているのではないかと調査されている

自身の顔情報と個人情報

- 人はSNSなどで、自身が発信する情報や個人情報を開示する対象を指定している
 - Google+のサークル機能
 - 匿名v.s.非匿名
- 個人が顔情報と個人情報をどこまで紐付けしてどういった対象に開示するのか

どんな物を作ろうと思ってるか

- クライアントアプリケーション
 - 顔を撮った写真を元に被写体の情報の要求をサーバーに発行
- サーバー
 - 顔認識で写真と一致する人物をデータベースから探索
 - 被写体ユーザに問い合わせへの許可/拒否
- データベース
 - 顔情報とその顔を持ったユーザのコンタクト情報を紐付け



デスノートで別の人を殺しちゃう確率

- 顔だけで本人を特定出来る可能性
- 顔と名前等の情報の組み合わせで本人を特定出来る可能性
- 写真取る時の距離で一致する確率がどうなるか？

マイルストーン

- 10月中にOpenCVの顔認識ライブラリを用いて顔認識の精度等の確認
- 次回MAUI 発表10/29(月)に OpenCVを用いた顔認識の塩梅を報告

まとめ

- 顔認識技術により被写体を識別、ネットでの繋がり、コンタクト情報の開示要求を送る
- 人がどこまで顔と個人情報とどこまで紐付けて、どういった対象に開示するか
- 10月中にOpenCVのライブラリでどれほどの精度で顔認識を行えるかを試す